

分野別市民懇談会

結果報告書（案）

令和6年（2024年）4月

朝霞市

目次

1. 分野別市民懇談会の概要.....	1
1-1. 実施の目的.....	1
1-2. 開催日時・場所.....	1
1-3. 参加者.....	1
1-4. 各回の進め方.....	1
2. 分野別市民懇談会の結果.....	2
1-1. 市民環境部会の開催結果.....	2
1-2. 意見概要.....	3
2-1. 都市建設部会の開催結果.....	9
2-2. 意見概要.....	10
3-1. 教育部会の開催結果.....	15
3-2. 意見概要.....	16
4-1. 健康福祉部会の開催結果.....	22
4-2. 意見概要.....	23
5-1. 総務部会の開催結果.....	30
5-2. 意見概要.....	31
3. 資料.....	37

1. 分野別市民懇談会の概要

1-1. 実施の目的

第6次朝霞市総合計画の策定に当たり、幅広く市民の意見を聴取するために実施した。

1-2. 開催日時・場所

【開催日時】

令和6年2月17日(土)	第1回	午前10時30分～正午
	第2回	午後0時30分～午後2時
令和6年2月18日(日)	第3回	午前10時30分～正午
	第4回	午後0時30分～午後2時
	第5回	午後2時30分～午後4時

【開催場所】

中央公民館・コミュニティセンター第1、第2集会室

1-3. 参加者

参加市民	計64人
第1回	12人
第2回	14人
第3回	14人
第4回	11人
第5回	13人

1-4. 各回の進め方

各分野について部会の職員から説明後、グループに分かれてその分野における朝霞市のいいところ、改善が必要と思うところ、現状について意見交換を行った。その内容をもとに、目指すべき姿について話し合い、グループごとに発表を行った。

【運営体制】

各部会職員	計104人
第1回 市民環境部会	11人
第2回 都市建設部会	26人
第3回 教育部会	19人
第4回 健康福祉部会	26人
第5回 総務部会	22人
政策企画課	6人

2. 分野別市民懇談会の結果

1-1. 市民環境部会の開催結果

- 1 日 時 令和6年2月17日(土) 午前10時30分～午後11時55分
- 2 会 場 中央公民館・コミュニティセンター 第1、第2集会室
- 3 参加者 計23人(市民12人、職員11人)
- 4 グループディスカッション(テーブル数3)

No.	テーマ	テーブル番号
1	環境、ごみ	1
2	環境、ごみ	3
3	地域コミュニティ、商工業・農業	5

※テーブル編成の都合上、テーブル2、4は欠番である。



1-2. 意見概要

テーブル番号	1
ディスカッションテーマ	ごみ・環境

① 課題（現状の姿）

【ごみ】

主な意見

- ①朝霞には最終処分場が無いことを知らない。
- ②プラごみの汚れのレベル判定が難しい。
- ③ごみのアピールが少ない。
- ④おむつが多くなる。
- ⑤大人に言っても無駄。

【環境】・・・[水とみどり] 自然環境についての意見が出された。

主な意見

水について

- ①根岸水路の管理があいまい。動植物が守られていない。
- ②湧水が減っている。水辺の環境に湧水を入れるべき。
水辺の環境と言っても様々である。
- ③河川のゴミについて。特に目につく所は浜崎黒目橋
水田が減少しているのを何とかできないか。農地法も何とかしてほしい。

みどりについて

- ④斜面林（ボランティア管理）4箇所を市民の方々が知らない。

生物多様性・共生について

- ⑤生き物のすみ家を保全したいといいながら、どこもかしこもコンクリートで固めるのは問題。内水はんらんの減少にもコンクリートは最小限に。
- ⑥CO₂削減と言いながら、何万個、何十万個のLEDを使ったイルミネーションを誇らしげに宣伝するのは問題。特に植物につけるのは大問題。
- ⑦昆虫への光害をやめる。
- ⑧暮らしの中の生活環境として、自然との共生。

② あるべき姿（望ましい姿）

【ごみ】

『100年後の朝霞—子ども達に素敵な朝霞を残せ！—』

主な意見

- ①「マヨネーズ容器は洗わずに燃やすゴミ」と広報の1ページに。
- ②汚れはゼロ100が良い。
- ③分別をもっとわかるように（HP・広報）。
- ④広報をもっと分厚くしてほしい。
- ⑤子供に教育をする。

【環境】

主な意見

- ①根岸水路の管理を調査して決める。動植物をまもる。
- ②湧水地の保全を行う。水涵養を積極的に行う。
雨水を地面に吸わせる。湧水の調査を発表。
朝霞は川だけでなく湧水がある。これを守る。
- ③川、斜面林、文化財など市の目玉となるものが周知される。
黒目川の歴史をまとめた事を、市民に知って頂くために博物館を利用。

共通する内容として

- 考え方を变える努力が必要。
- 小学生からの教育を充実する。
- 河川や湧水、里山などの樹木は、朝霞市が誇れる財産であるので、残す努力が必要。
- 市民に周知するために、部署を超えて文化財、斜面林、河川、湧水などを紹介したマップなどを作る。

その他（ごみ・環境以外の意見）

- 町内会の活動がよく分からない。
 - ➔外灯・消火器の取り扱い
- 何を作り替えるにせよ市民の声を聞いているのでしょうか。例えば、公共設備のトイレ
 - ➔何でも使う人の意見をまず聞いてみる。委員会とかの場以外でも。
- 市民への周知の仕方がもう一工夫必要。
 - ➔周知は大きな文字で一点毎に広報で問題点を取り上げて知らせる。
- 市の委員会に市民が入ることについて。
 - ➔どんな委員会を構成するのにも候補制を重視してやる気のある人に委任して。成立

しない委員会を考えて！！

市内在住の専門家の力をもっと借りて行政の力にしたらどうか。

○道路の整備についても、めりはりをつけて目的をしぼり、一番何が大切かの視点で計画を立てる。

➡少しずつかわってきているので、このまま加速して進める。

○街路樹の剪定について。時期を見ての手入れを行う。

テーブル番号	3
ディスカッションテーマ	ごみ・環境

① 課題（現状の姿）

【ごみ】

主な意見

- ①カラス被害のゴミが散乱。
- ②不用品等の捨て方が分からない。
- ③外国人の増加によるゴミの分別等の不徹底。
- ④放置されたゴミを近隣住民では拾いきれない。
- ⑤ごみ集積所（収集箱）にごみが入りきらない。

【自然】

主な意見

- ①野生の小動物が街中に出てくる。
- ②樹木が切られても植えなおさない。
- ③公共施設の緑化は施設ごとの管理であり、市の施設全体の緑化の考えがない。

【川の美化】

主な意見

- ①新河岸川にも焦点をあててほしい。
- ②川の中にゴミが放置されている。
- ③冠水が頻繁に発生する。

【街の課題】

主な意見

- ①事業所から騒音や振動が生じている。
- ②放置自転車が置かれたままになっている。

② あるべき姿（望ましい姿）

【ごみ】

主な意見

- ①網（カラス除けネット）の徹底。
- ②利用していない家具や不用品の再利用。
- ③外国人に対し、ゴミの捨て方を理解するための多言語アプリの活用。
- ④市内で活動する様々な団体とコラボして、スポGOMIへの参加も含めゴミ拾いに特化したイベントの実施。
- ⑤ごみが収まらない原因が、新たに建った住宅が加わったことにより面積不足が生じていることから、集積所利用者間で話し合うことが必要。

【自然】

主な意見

- ①野生の小動物が棲みやすい場所と餌となるものの植物を残す。
- ②伐採したら、その分を植えなおす。
- ③公共施設の緑化は、施設ごとの管理にとどまらず、施設を超えて協議する。

【川の美化】

主な意見

- ①新河岸川にも珍しい鳥類や昆虫がいるので、SNSで情報発信をする。
- ②現状は、周辺住民で清掃をしているが、市民と行政が一緒になって清掃をする。
- ③冠水予防のため、「田んぼダム」に行政が支援をする。

【街の課題】

主な意見

- ①事業所の騒音と振動に対し、市独自の条例を検討する。
- ②行政が速やかに回収する。

テーブル番号	5
ディスカッションテーマ	地域コミュニティ、商工業・農業

① 課題（現状の姿）

【 地域コミュニティ、商工業・農業 】

主な意見

- ・市外からの転入者が多く、以前から旧住している住民との関りが希薄である。
- ・他の地域より遅いとはいえ住民の高齢化が進んでいると感じる。また、「共働き」の世帯が増えて、「昼間」に人が少なくなっている。
- ・社会全般でデジタル化が進みつつあるため、変化のスピードが速く、特に高齢者は変化のスピードについていくことが出来ない。
- ・乗降客の多い朝霞台・北朝霞駅周辺で商店等の集積が少なく、街が寂しい感じがする。
- ・（その他）小中学校の校名が、「地域名」ではなく、「数字」であるため、地域および地域名に対する愛着が育ちにくいと思う。

② あるべき姿（望ましい姿）

【 地域コミュニティ、商工業・農業 】

主な意見

- ・居住年数の長短に関わらず、地域の住民同士が交流できるようなイベントや仕組みが出来ると良い。
- ・子ども会の活動を活性化して、活動を通じて世代間の交流が図れるようになると地域への愛着も増して良い。
- ・高齢者同士がお互いに助け合えるような仕組み（世代内共助）を整えて、対面で人と人が繋がりをあえるようになると良い。
- ・街の賑わいをつくるため、空き店舗を活用するような起業家などを支援する。また、持ち家の高齢者世帯の空き部屋に大学生等に割安で下宿させることにより高齢者と若者の交流が図られると良い。
- ・（その他）小中学校の校名を「数字」から「地域名」に変更する。また、各公共施設の名称も必要なものは見直しを行う。

2-1. 都市建設部会の開催結果

- 1 日 時 令和6年2月17日（土）午後0時30分～午後2時00分
- 2 会 場 中央公民館・コミュニティセンター 第1、第2集会室
- 3 参加者 計40人（市民14人、職員26人）
- 4 グループディスカッション（テーブル数5）

No.	テーマ	テーブル番号
1	道路・交通	5
2	緑・公園・景観	4
3	開発・住宅	2
4	公共空間利活用	3
5	上下水道	2

※テーブル編成の都合上、テーブル1は欠番である。



2-2. 意見概要

テーブル番号	2
ディスカッションテーマ	開発・住宅

①課題（良いところ・課題になっているところ）

主な意見

- ・高層マンションがもっと増えても良い。
- ・駅から徒歩10分圏内は農地より宅地にしたほうが良い。
- ・密集地は暗く、道路が狭く危ない。
- ・道が狭く交通量が多い。
- ・本町は一戸建てが密集し、消防車が入れない。
- ・建物の機能を条例等で定め、きれいなまちをつかってほしい。

②あるべき姿（20年後のあるべき姿・今後20年間でやりたいこと）

主な意見

- ・条例による建物の品質向上。
- ・建物の品質を向上させるために道幅を広げる。
- ・きれいなまちづくりのためのルールがあったほうが良い。
- ・紛争の防止について、より事業主と市民の方が納得できるような手続きをつくる。

テーブル番号	2
ディスカッションテーマ	上下水道

①課題（良いところ・課題になっているところ）

主な意見

- ・下水の更新は間に合うのか。
- ・下水道のキャパシティは足りるのか。
- ・下水道普及率が100ではない。
- ・川に流す水は安全なのか。
- ・浸透性のある道路にならないか。

②あるべき姿（20年後のあるべき姿・今後20年間でやりたいこと）

主な意見

- ・老朽化対策を実施していくことが大切。
- ・水道に関する老朽化対策は多く必要になることから、予算の確保を。

テーブル番号	3
ディスカッションテーマ	公共空間利活用

①課題（良いところ・課題になっているところ）

主な意見

- ・特色のある公園が多いので、もっと周知すべき。
- ・内間木公園など、市街化調整区域でスケボーやBMXをできるようにしては。
- ・便利な地区とのんびりした地区のゾーニングが必要。
- ・駅から遠い場所をもっと活用すべき。
- ・施設複合化。
- ・朝霞水門や調整池などをプレーパークや学習に活用しては。
- ・黒目川の遊歩道は一部歩きづらい。
- ・新河岸川や荒川沿いも整備し、安全に利用できるようなルール作りを。
- ・独居高齢者住宅の有効活用。
- ・畑と冠水対策用地など2ウェイの使い方ができるようにしたほうが良い。
- ・寄付していただいたベンチに企業PRをつけられたほうが良いのでは。
- ・イベント時に臨時バスを出すほうが良いのでは。

②あるべき姿（20年後のあるべき姿・今後20年間でやりたいこと）

主な意見

- ・駅周辺に都市機能を集約し、内間木地域や川沿いは自然と触れ合える場所であるべき。
- ・市街化調整区域の公園などでスケートボードやBMXができるようになると良い。
- ・企業の送迎バスや駐車場を休日に活用してはどうか。
- ・空き店舗を日貸しすると賑わいが創出されるのでは。
- ・空き家や単身高齢者の家に大学生に住んでもらうと、まちの賑わいや高齢者の見守りにつながる。
- ・黒目川沿いをもっと歩きやすくなってほしい。

テーブル番号	4
ディスカッションテーマ	緑・公園・景観

①課題（良いところ・課題になっているところ）

主な意見

- ・シンボルロード・朝霞の森・黒目川の緑が豊かで歩いていて気持ちが良い。
- ・市民が主体となって田島緑地の整備が進み、多くの生き物が見られる。
- ・シンボルロードの植物保護。
- ・水と緑のネットワークを広げる。
- ・黒目川沿いのベンチを増やしてもいいのでは。
- ・新しい公園の周知。
- ・湧水を大切にしてほしい。
- ・小さな公園が活かされていない。
- ・川のごみが長らく撤去されていない。
- ・緑に関する予算・人員が少なすぎる。
- ・基地跡地第2期整備が止まってしまっている。
- ・基地跡地の自然観察会を実施してほしい。
- ・林や農地の開発が進んでしまっている。自然を残して憩いの場にできないか。
- ・新型コロナウイルスを契機に市民参加が後退してしまった。
- ・国有地を早く解放してほしい。
- ・黒目川の桜の老朽化が進んでおり、植え替えが必要。

②あるべき姿（20年後のあるべき姿・今後20年間でやりたいこと）

主な意見

- ・国有地が市の所有になってほしい。
- ・黒目川など、歴史ある朝霞のまちを残してほしい。
- ・黒目川周辺が緑に囲まれ、憩いの場になってほしい。
- ・緑を増やし、生き物と接触できるようになってほしい。
- ・環境税の導入等により国有地を買い取ってほしい。
- ・自然豊かなまちで子育て、老後が送れるまちになってほしい。
- ・基地跡地はすべて市民が利用できるようになってほしい。
- ・基地跡地利用計画を見直してほしい。

テーブル番号	5
ディスカッションテーマ	道路・交通

①課題（良いところ・課題になっているところ）

<p>主な意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バスの利用者、本数の減少。 ・イベント時にバスの利用が不便。 ・狭い道が多く、歩道がない道もある。 ・デマンド交通の実現。 ・シェアサイクルによりバスの利用が減ったが、放置自転車は少なくなった。 ・自転車専用レーンの確保。 ・北朝霞・朝霞台駅の連絡通路の印象を良くしたい。 ・まちに駐車場が多い。
--

②あるべき姿（20年後のあるべき姿・今後20年間でやりたいこと）

<p>主な意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウォーカブルなまちづくり。 ・新しい交通モビリティの発展（自家用車も減る）。 ・ドローンを活用した配達。 ・ドローンレーンなど、新しい乗り物用道路の整備。 ・動く歩道があれば。 ・高齢者も交通の担い手として活躍 ライドシェア。 ・市内で人の流動が増えたらバスも保つことができる。 ・交通ルールが浸透しているまちになってほしい。

3-1. 教育部会の開催結果

- 1 日 時 令和6年2月18日（日）午前9時30分～正午
- 2 会 場 中央公民館・コミュニティセンター 第1、第2集会室
- 3 参加者 計33人（市民14人、職員19人）
- 4 グループディスカッション（テーブル数3）

No.	テーマ	テーブル番号
1	学校教育	2
2	生涯学習	4
3	生涯学習	5

※テーブル編成の都合上、テーブル1、3は欠番である。



3-2. 意見概要

テーブル番号	2
ディスカッションテーマ	学校教育

① 課題（現状の姿）

グループ1 ⇒ 【意見交流の場】

- ・この懇談会に現場の教員が出席していない。
- ・生徒と保護者の利害関係のない話し合いの場が無い。

グループ2 ⇒ 【教員の負担軽減】

- ・教員の負担解消。
- ・教員、学校の孤立化。
- ・部活動支援。
- ・教員不足。

グループ3 ⇒ 【いじめ、不登校】

- ・いじめ、不登校への対応。
- ・教員、生徒のメンタル。
- ・スマホ活用によるいじめ。
- ・みんな一緒に同じことをやらなければいけないという教育。

グループ4 ⇒ 【学校の多様化（子供の主体性の尊重）】

- ・小学校高学年～中学校は選択授業があると楽しく勉強ができる。
- ・部活動だけではなく、サークルのような自分たちでやりたい事を作れる。
- ・教員の給料が安すぎる（使命感だけでは限界があると感じている）。
- ・主体性がない→選べない。
- ・小学校と中学校とに、学習面、生活面に違いがあり過ぎる。
- ・中学で部活以外の楽しみを。
- ・選択科目が無い。

② あるべき姿（望ましい姿）

グループ1⇒【意見交流の場】

- ・意見なし。

グループ2⇒【教員の負担軽減】

- ・事務補助員の配置。
- ・外部指導員の活用。
- ・理科支援員（小学校）の業務のレベルアップと給与改善。
- ・退職した教員（大学、高校、中学）の活用。

グループ3⇒【いじめ、不登校】

- ・情報機器の正しい使い方の指導。
- ・カウンセラーの充実。
- ・子供の『体力』。
- ・A Iの活用。
- ・選択していい教育に。

グループ4⇒【学校の多様化（子供の主体性の尊重）】

- ・サード・プレイスをつくる（同じ関係の人、当事者会）。
- ・柔軟な個に対する。
- ・いかなくても良いシステム。

テーブル番号	4
ディスカッションテーマ	生涯学習

① 課題（現状の姿）

グループ1 ⇒ 【学びの考え】

- ・主体性、パラダイムシフト。
- ・「自ら」という視点に着目した取組、環境整備。
- ・学ぶ意欲が足りない、低い社会参加。

グループ2 ⇒ 【連携】

- ・東洋大学との連携（文化・スポーツ）。
- ・市内企業との連携（企業施設の利用）。

グループ3 ⇒ 【情報】

- ・全てのイベントに対する告知が弱い。
- ・ニーズの適切な把握。

グループ4 ⇒ 【グローバル、多文化】

- ・SDGs、平和。
- ・グローバル、多様性への対応。
- ・外国人が増加していくと思われる（他国文化など）。

グループ5 ⇒ 【施設の管理・運営】

- ・公民館の老朽化、建替計画。
- ・公民館の利用基準の見直し（利用しやすさ、申し込みしやすさ）。
- ・図書館展示スペースが勉強用として占拠されている。
- ・発達課題。

グループ6 ⇒ 【その他】

- ・孤立化。
- ・「生涯学習」の名称。
- ・ITとリテラシーとの関係で浮き彫りになってきているジレンマへの対応。

② あるべき姿（望ましい姿）

グループ1⇒【学びの考え】

- ・なし。

グループ2⇒【連携】

- ・アウトリーチ。
- ・世代間差のない意見交換の場が必要。
- ・小学生のスマホ教室。

グループ3⇒【情報】

- ・なし。

グループ4⇒【グローバル、多文化】

- ・生涯学習課内に「ユネスコ係」を設ける。

グループ5⇒【施設など】

- ・広場。
- ・地域活動拠点。
- ・公民館などで作品（絵画、書道など）を販売してはどうか。

グループ6⇒【その他】

- ・生涯学習を専門的に広げていくために社会教育士など、専門職員の増員。

テーブル番号	5
ディスカッションテーマ	生涯学習

① 課題（現状の姿）

グループ1⇒【ウェルビーイング】

- ・社会教育と学校との共有がない。

グループ2⇒【ハード】

- ・施設のバリアフリーが遅れている（障害者、高齢者が少しづつはみ出されている）。
- ・高齢者向けの運動の検討をしてほしい。

グループ3⇒【ソフト】

- ・博物館の展示内容が古い。
- ・博物館の動画が古いまま（更新されていない）。
- ・図書館資料の更新がうまく進んでない。
- ・ベビーベッドが設置されていない。
- ・備品のメンテナンス不足。

グループ4⇒【施設のあり方】

- ・公民館は目的がないと入りづらい。
- ・図書館（本館・分館）の格差が大きい（蔵書や座席）。

グループ5⇒【利用のあり方】

- ・スポーツ関係の教室等に申し込んでも参加できない（募集人員、日数）。
- ・高齢者向けイベントが少ない。イベントが多く参加に迷う。
- ・公民館利用者の偏り（グループ）。
- ・図書館の利用が少ないように感じる。

グループ6⇒【人材育成】

- ・生涯学習分野で社会教育士のキーパーソンが福祉と連携してほしい。
- ・社会教育に専門職員が不足している。

② あるべき姿（望ましい姿）

グループ1⇒【ウェルビーイング】

- ・学校も地域もWIN-WINに。

グループ2⇒【ハード】

- ・施設のバリアフリーに重点。人生100歳の時代。

グループ3⇒【ソフト】

- ・備品に予算を。
- ・リサイクル品を活用したベビーベッドの設置。

グループ4⇒【施設のあり方】

- ・公民館にも憩いの場がほしい。

グループ5⇒【利用のあり方】

- ・朝霞市PRビデオを市民によるコンテストで優秀作品を活用。
- ・成果的な動向（方針）などは、日本語で分かりやすく表記。
- ・ITリテラシーの充実を。

グループ6⇒【人材育成】

- ・正規職員の採用を増やす。
- ・専門職員の養成に予算を確保する。

4-1. 健康福祉部会の開催結果

- 1 日 時 令和6年2月18日（日）午後0時30分～午後2時
- 2 会 場 中央公民館・コミュニティセンター 第1、第2集会室
- 3 参加者 計37人（市民11人、職員26人）
- 4 グループディスカッション（テーブル数4）

No.	テーマ	テーブル番号
1	子ども・子育て	2
2	健康・医療	3
3	高齢者 いきいき長寿	4
4	地域福祉と障害福祉	6

※テーブル編成の都合上、テーブル1、5は欠番である。



4-2. 意見概要

テーブル番号	2
ディスカッションテーマ	子ども・子育て

① 課題（現状の姿）

【子ども・子育て】

主な意見

【保育支援】

- ・マンションが建つと通学圏内の小学校が満杯となってしまう。
- ・保育園の待機児童は減ったが放課後児童クラブの待機児童が多い状況。
小学生から中学生の子がいる世帯の転出の一因となっている。
- ・保育士の仕事（事務負担等）が多すぎるのではないかな。

【住まい・公園】

- ・公園が少ない。特にボール遊びができる公園が少ない。
- ・マンションを建てる場合には公園を作るなどの規制が必要では。

【子どもの居場所づくり】

- ・不登校児童の居場所づくりや対応をもっと手厚くする。

【親への支援】

- ・共働き家庭への産前産後ケア（父親への情報発信）が必要。
- ・出産までの支援体制はよいが、産後ケア（0～1歳）が弱い。
- ・支援や事業が、当事者に伝わっていない。

② あるべき姿（望ましい姿）

【子ども・子育て】

主な意見

【目指すべき姿】

- ・「子育てするなら朝霞」と言われるブランドイメージを作る。
- ・子どもを産み育てやすいまちにする。

【全体に関連する方策】

- ・あらゆる制限を緩和し、支援につなげる。
- ・伝わる情報発信方法（見せる化）の検討。
- ・子ども・子育て施策に係る当事者からの意見や情報の吸い上げ方を検討。
- ・IT化の推進。

【保育支援】

- ・共働き家庭が多いため、関連する施設の開館や利用時間の早め化や遅く化を図るなど、あらゆる制限を緩和して働きながら子育てしやすい環境を整える。
- ・様々な保育に係る施策や支援の情報発信方法を工夫する。
- ・保育士の仕事状況を把握し、事務などの負担を軽減して保育に専念してもらう。

【住まい・公園】

- ・ボール遊びができる公園を増やす。

【子どもの居場所づくり】

- ・居場所（サード・プレイス）づくり。
- ・不登校児への対策。
- ・当事者同士の交流の場づくり。

【親への支援】

- ・共働き家庭への支援。
- ・父親への情報発信。
- ・産後ケアなどの支援や事業について当事者に伝わるよう情報発信方法を検討する。

【交流の場】

- ・ひらかれた学校づくりや子ども施設と高齢者施設をリンクさせるなど、さまざまな世代が交流し、よい影響や互助関係を築く場をつくる。

テーブル番号	3
ディスカッションテーマ	健康・医療

① 課題（現状の姿）

【健診、予防接種、母子支援について】

主な意見

- ・大人の健診・・・健診率が低い改善策が必要、骨密度測定の追加。
- ・子どもの健診・・・集団検診がメイン。
- ・予防接種・・・带状疱疹ワクチンの補助がない、コロナ等感染予防対策の実施。
- ・母子の交流・・・母子の交流、子育て支援をする場所が少ない。

② あるべき姿（望ましい姿）

【健診、予防接種、母子支援について】

主な意見

- ・大人の健診・・・健診率UPのためのPRやキャッチコピー。
- ・子どもの健診・・・個別健診も選べる体制、自由に日時が選べるメリット。
- ・予防接種・・・带状疱疹ワクチンの補助の実施。
感染対策（手洗い・うがい等）が習慣となるような取り組み。
- ・母子の交流・・・仲町保育園（子育て支援センター）での取組みを他の園でも実施。

テーブル番号	4
ディスカッションテーマ	高齢者 いきいき長寿

① 課題（現状の姿）

グループ1 ⇒ 【発信】

主な意見

- ・フレイル予防をする機会と、そのよびかけが低い。
- ・市民活動の告知。

グループ2 ⇒ 【つながりあう】

主な意見

- ・社会参加が少ない。
- ・よりあう場所が少ない→つながりをつくれない。
- ・孤独・孤立。
- ・高齢者を取りまく状況を伝えて欲しい。

グループ3 ⇒ 【成年後見制度】

主な意見

- ・成年後見制度未整備。

グループ4 ⇒ 【ざっくばらんに たよれる場所】

主な意見

- ・ざっくばらんに困り事を言う処がない。
- ・相談窓口（支援センター）が近くにない。
- ・こまり事の相談場所が知りたい！
- ・「自助」の行きすぎ<グループ5【制度 環境】にも含まれる>

グループ5 ⇒ 【制度 環境】

主な意見

- ・車イスになった時の道路が不安。
- ・介護事業者が足りない 人手不足。
- ・「自助」の行きすぎ<グループ4【ざっくばらんに たよれる場所】にも含まれる>

② あるべき姿（望ましい姿）

グループ1⇒【発信】

主な意見

- ・地域のSNS。
- ・広報あさか市民活動拡大。
- ・コミュニティFM9の活用。
- ・PTAでの告知。
- ・健康診断時での告知。

グループ2⇒【つながりあう】

主な意見

- ・市民のがっこう（クラブ、委員会）。
- ・地域活動の拠点。
- ・企業との連携（社会への告知）。
- ・地域通貨。
- ・いつでも都合がいい時に集える場所。
- ・若い方との交流の場所が欲しい。
- ・児童館への参加見学。

グループ3⇒【成年後見制度】

主な意見

- ・成年後見制度支援事業。
- ・成年後見制度基本計画策定。
- ・成年後見中核機関協議会。

グループ5⇒【制度 環境】

主な意見

- ・介護職員への助成。

テーブル番号	6
ディスカッションテーマ	地域福祉と障害福祉

① 課題（現状の姿）

グループ1 ⇒ 【制度】

主な意見

- ・ 高齢者、障害者への偏見は根強い。
- ・ 制度も施設もできているが巷では、我れ関せず者が増えている。
- ・ 高齢者、障害者の生活は多様になるが、家族の苦しみは変わらない。
- ・ 地域包括区分が生活実態に分割されていない。
- ・ 成年後見人制度が不十分。
- ・ 福祉計画、介護計画に介護予防予算を。

グループ2 ⇒ 【地域コミュニティ】

主な意見

- ・ 高齢者地域内でのコミュニティが不足。
- ・ 孤立世帯の把握と対応。
- ・ 地域活動参加者の減。
- ・ 互助の考え方は難しい（どこまで踏み込めるか）。
- ・ 互助の必要経費。
- ・ 高齢者への支援不足。
- ・ 高齢者は移動が大変。

② あるべき姿（望ましい姿）

グループ1⇒【制度】

主な意見

- ・意識変革教育のチャンスをもっと多くもらう。
- ・施設依存型になりやすい→家族との生活の大切さを認識。
- ・諸制度のPRを。
- ・地域包括支援センターの6圏域の見直し、または圏域の増設。
- ・法人後見人制度を導入。
- ・予算化。
- ・知る環境、体験福祉の充実→理解。

グループ2⇒【地域コミュニティ】

主な意見

- ・予算化。
- ・あいはいと事業の強化、ゴミ出し助っ人制度。
- ・町内会のあり方、新しい町内・自治活動の誕生へ。
- ・移動スーパーの導入（高齢者施設などを巡回）。

○ニーズ

- ・行政が出向いて聞きに行く。

5-1. 総務部会の開催結果

- 1 日 時 令和6年2月18日（日）午後2時30分～午後4時00分
- 2 会 場 中央公民館・コミュニティセンター 第1、第2集会室
- 3 参加者 計35人（市民13人、職員22人）
- 4 グループディスカッション（テーブル数4）

No.	テーマ	テーブル番号
1	広報・広聴	A
2	行財政・公共施設	B
3	デジタル	C
4	防災	D



5-2. 意見概要

テーブル番号	A
ディスカッションテーマ	広報・広聴

① 課題（現状の姿）

主な意見

【良い点】

- ・ ホームページが充実していて、頻繁に更新されている。
- ・ 広報が宅配で各家庭に届くのは助かる。
- ・ 説明会やワークショップを開いて、市民への説明や意見聴取がされている。

【悪い点・改善点】

- ・ ホームページの情報量が多いが、探しづらい部分がある。
- ・ 広報は月1回しか発行されず、紙面に限りがある。
- ・ 説明会やワークショップの参加者が少ない。周知されていない。
- ・ 各施策の当事者から意見を聴く仕組みがあるとよい。
- ・ オンラインで意見を伝える場が欲しい。
- ・ 防災行政無線が聞き取りにくい。

② あるべき姿（望ましい姿）

主な意見

- ・ 市民に必要な情報が届いている（ホームページや広報での伝え方を工夫する）。
- ・ 見たくなるホームページにする。
- ・ ホームページで知りたいことを聞くと答えてくれる（AIチャットの導入）。
- ・ 見て楽しい広報誌にする。
- ・ 広報のページ数を増やす。
- ・ 市民の意見を聴く機会を増やす。
- ・ ホームページにパブリックコメントやワークショップに関するページを作る。
- ・ 若い世帯の意見を反映する仕組みを作る。
- ・ 説明会やワークショップに参加しやすい（敷居を下げる）。

テーブル番号	B
ディスカッションテーマ	行財政・公共施設

① 課題（現状の姿）

<p>主な意見</p> <p>【良い点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図書館、図書館北朝霞分館が良い。 ・ 建て替えをしないところ。 ・ 市役所本庁舎を部分的に直すのはよい（本館1階トイレなど）。 <p>【悪い点・改善点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 築年数の古い建物が多い。 ・ 築50年以上の施設が多い。 ・ 古い保育園の調理施設を新しくしてほしい（魚が生臭い）。 ・ 公民館の利用方法について利用者の意見聴取の場がない。 ・ 30年後に集中する建て替え計画をしっかりとってほしい。 ・ 公共施設の再配置、集約化の検討。 ・ 未利用国有地の活用を前に進めるべき。 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本当に80年も施設を使う気なのか。 ・ 財政収入、支出の件を市民の目で意見する場が必要。 ・ 財政について話す分野別懇談会がない。

② あるべき姿（望ましい姿）

主な意見

- ・ 使いやすく予約方法がわかりやすい、どんな世代も集うことができる場。
- ・ 公共施設の利用者協議会の設置。
- ・ 利用度の低い施設を別用途の施設への転用と法整備。
- ・ 次の50年を見据えた公共施設の統廃合、再配置 →美しいまちへ。
- ・ 安心、安全、災害に強いまち →災害対策を意識した公共施設の建設、計画。
- ・ コンパクトシティ化 →人口減少を見据えた防災、災害対策。
- ・ ハザードマップ上にある公共施設の移転。
- ・ 耐震に問題がなければ、古い建物をリメイクしていくのがこれからの時代であり、先駆けて実施する市になってほしい。
- ・ 公共施設の民営化、市民自主管理の推進。

【その他の意見】

- ・ 子育てや教育分野で新しい取組みをどんどん実施してほしい。
- ・ 他の自治体からも住みたいと思われる市。
- ・ 市が援護している市民を雇用する企業を増やし、その企業が市の事業を受注することにより、雇用促進が図られ被援護者の収入増が図られるとともに、結果として扶助費の歳出削減につながるのではないか。

テーブル番号	C
ディスカッションテーマ	デジタル

① 課題（現状の姿）

主な意見

- ・人を育ててほしい。
- ・一般人のフォローができていないか。
- ・デジタル庁に職員を出向させてほしい。
- ・「行かない」「書かない」がおくれている。
- ・DXが縁遠い人のフォローをしてほしい。
- ・市としてのDXの位置付がみえない。
- ・DX分野予算が少ない→人を育てることに注力。

② あるべき姿（望ましい姿）

主な意見

- ・職員の方の負担軽減を図るDX。
- ・DX人材をどんどん国に送り込もう。
- ・行かない・書かない・待たないの実現。
- ・各種ワンストップの手續実現。
- ・困ったときに適切な情報が出てくる。
- ・チャート式でYes・Noや地域選択位で情報が探せる朝霞。
- ・わかりやすい行政手續の実現。
- ・市役所に行かなくても済む。
- ・電子投票の実現。
- ・防災情報の見える化アプリ導入。
- ・誰一人取り残されないDX・デバイド対策。
- ・広聴に特化・参加しやすい仕組みづくり。

テーブル番号	D
ディスカッションテーマ	防災

① 課題（現状の姿）

主な意見

- ・ 助け合う習慣が薄い。
- ・ 避難行動要支援者個別避難計画が進んでいない。
- ・ 町内会の防災における役割がわからない。
- ・ 防災訓練を町内会、民生委員、地域防災アドバイザーが連携して行う方がよい。
- ・ 福祉避難所の明確化、周知。
- ・ 朝志ヶ丘、三原地区の住宅密集地火災対策。
- ・ 内水氾濫対策。
- ・ 高齢者は、避難場所に行くのが困難。
- ・ 福祉避難所が浸水想定区域にある。
- ・ 災害時にどこに避難したらよいかわからない。
- ・ 防災無線が聞こえない。
- ・ 日頃の防災情報が伝わっていない。
- ・ 防犯カメラの不足。
- ・ 信号が少ない。
- ・ 避難場所の安全性。
- ・ 電灯が少ない。
- ・ 内水や積雪に対する広報が少ない。
- ・ 防災公園が少ない。

② あるべき姿（望ましい姿）

主な意見

- ・ 防災訓練の充実。
- ・ 防災訓練参加者の増加。
- ・ 予防的な対応の充実。
- ・ 町内会、行政、民間企業の連携。
- ・ 自治会の活動内容を広める。
- ・ 情報の伝え方の工夫。
- ・ 広報誌の活用。
- ・ 安全に避難するための体制、施設、設備の充実。

3. 資料

募集チラシ



現在、市では令和8年度からの10年間を計画期間とする「第6次朝霞市総合計画」の策定に向けた取組を進めています。その一環として市民の皆様の意見を幅広く伺い、計画内容に生かしていくため、「分野別市民懇談会」を開催します。

各回のテーマについて市の職員が現状と課題を説明し、市民の皆様が日頃感じていることなどについて参加者と職員で意見交換を行います。

回	開催日	時間	テーマ	担当部会
第1回	令和6年 2月17日 (土)	午前10時30分 ～正午	住みよい環境づくり ～生活環境・産業振興・ コミュニティ～	市民環境部会
第2回		午後0時30分 ～午後2時	未来を拓くまちづくり ～次世代につなぐ インフラ整備～	都市建設部会
第3回	令和6年 2月18日 (日)	午前10時30分 ～正午	生きる力を育む朝霞の教育 ～学校教育と生涯学習～	教育部会
第4回		午後0時30分 ～午後2時	朝霞の福祉 ～子ども・子育てと いきいき長寿～	健康福祉部会
第5回		午後2時30分 ～午後4時	「暮らしつづけたいまち朝霞」 を目指して ～行財政・防災～	総務部会

場所／中央公民館・コミュニティセンター(第1、第2集会室)

対象／どなたでも

定員／各回60名 参加費／無料

その他／

事前申込不要。直接会場へお越しください。

いずれか1回だけでも参加できます。

お子様連れでの参加も可能です。

手話通訳者を配置しています。

問い合わせ

朝霞市役所 政策企画課

☎048-463-3089

✉ seisaku_kikaku@city.asaka.lg.jp

主な意見（現状と課題・あるべき姿・改善点）

分野	テーマ	意見グループ	現状と課題（いい点・改善点）	あるべき姿・改善策
市民環境	ごみ・環境	ごみ	・外国人の増加によるゴミの分別等の不徹底。 ・不用品等の捨て方が分からない。	・外国人に対し、ゴミの捨て方を理解するための多言語アプリの活用。 ・利用していない家具や不用品の再利用。
		水	・根岸水路の管理があいまい。動植物が守られていない。 ・湧水が減っている。水辺の環境に湧水を入れるべき。	・根岸水路を調査して、動植物をまもる。 ・湧水地の保全を行う。水涵養を積極的に行う。
		みどり	・斜面林（ボランティア管理）4箇所の場所を市民の方々が知らない。	・川、斜面林、文化財など市の目玉となるものが周知される。
		自然	・野生の小動物が街中に出てくる。 ・樹木が切られても植えなおさない。	・野生の小動物が棲みやすい場所と餌となるものの植物を残す。 ・伐採したら、その分を植えなおす。
		川の美化	・新河岸川にも焦点をあててもらいたい。 ・川の中にゴミが放置されている。	・新河岸川にも珍しい鳥類や昆虫がいるので、SNSで情報発信をする。 ・市民と行政と一緒に清掃をする。
	街の課題	・事業所から騒音や振動が生じている。	・事業所の騒音と振動に対し、市独自の条例を検討する。	
	地域コミュニティ、商工業・農業	地域コミュニティ	・市外からの転入者が多く、以前から旧住している住民との関りが希薄である。 ・小中学校の校名が、「地域名」ではなく、「数字」であるため、地域および地域名に対する愛着が育ちにくいと思う。	・居住年数の長短に関わらず、地域の住民同士が交流できるようなイベントや仕組みが出来るとうい。 ・（その他）小中学校の校名を「数字」から「地域名」に変更する。また、各公共施設の名称も必要なものは見直しを行う。
商工業	・乗降客の多い朝霞台・北朝霞駅周辺で商店等の集積が少なく、街が寂しい感じがする。	・街の賑わいをつくるため、空き店舗を活用するような起業家などを支援する。		
都市建設	開発・住宅、上下水道	開発・住宅	・密集地は暗く、道路が狭く危ない。 ・建物の機能を条例等で定め、きれいなまちをつくってほしい。	・建物の品質を向上させるために道幅を広げる。 ・きれいなまちづくりのためのルールがあったほうが良い。
		上下水道	・下水の更新は間に合うのか。 ・浸透性のある道路にならないか。	・水道に関する老朽化対策は多く必要になることから、予算の確保を。
	公共空間利活用	利活用	・便利な地区とのんびりした地区のゾーニングが必要。 ・独居高齢者住宅の有効活用。	・駅周辺に都市機能を集約し、内間木地域や川沿いは自然と触れ合える場所であるべき。 ・空き家や単身高齢者の家に大学生に住んでもらうと、まちの賑わいや高齢者の見守りにつながる。
		その他	・寄付していただいたベンチに企業PRをつけられたほうがいいのでは。 ・イベント時に臨時バスを出すほうが良いのでは。	・企業の送迎バスや駐車場を休日に活用してはどうか。
	緑・公園・景観	公園・自然	・特色のある公園が多いので、もっと周知すべき。 ・黒目川の遊歩道は一部歩きづらい。	・市街化調整区域の公園などでスケートボードやBMXができるようになると良い。 ・黒目川沿いももっと歩きやすくなってほしい。
基地跡地	・基地跡地第2期整備が止まってしまっている。 ・基地跡地の自然観察会を実施してほしい。	・基地跡地利用計画を見直ししてほしい。 ・基地跡地はすべて市民が利用できるようになってほしい。		
道路・交通	バス・交通	・バスの利用者、本数の減少。 ・シェアサイクルによりバスの利用が減ったが、放置自転車は少なくなった。	・市内で人の流動が増えたらバスも保つことができる。 ・新しい交通モビリティの発展（自家用車も減る）。	
学校教育	教員の負担軽減	教員の負担軽減	・部活動支援 ・教員不足	・外部指導員の活用 ・退職した教員（大学、高校、中学）の活用
		いじめ・不登校	・スマホ活用によるいじめ ・教員、生徒のメンタル	・情報機器の正しい使い方の指導 ・カウンセラーの充実
		学校の多様化（子どもの主体性の尊重）	・小学校高学年～中学校は選択授業があると楽しく勉強ができる ・中学で部活以外の楽しさを	・サードプレイスをつくる（同じ関係の人、当事者会）
	生涯学習	連携	・東洋大学との連携（文化・スポーツ） ・市内企業との連携（企業施設の利用）	・アウトリーチ ・世代間差のない意見交換の場が必要
		グローバル・多文化	・SDGs、平和 ・グローバル、多様性への対応	・生涯学習課内に「ユネスコ係」を設ける
		その他	・ITとリテラシーとの関係で浮き彫りになってきているジレンマへの対応	・生涯学習を専門的に広げていくために社会教育士など、専門職員の増員
		ウェルビーイング	・社会教育と学校との共有がない	・学校も地域もWIN-WINに
		ハード	・施設のバリアフリーが遅れている（障害者、高齢者が少しづつみ出されている）	・施設のバリアフリーに重点。人生100歳の時代
		ソフト	・博物館の展示内容が古い ・ベビーベッドが設置されていない	・リサイクル品を活用したベビーベッドの設置
		施設のあり方	・公民館は目的がないと入りづらい	・公民館にも憩いの場がほしい
利用のあり方	・高齢者向けイベントが少ない。イベントが多く参加に迷う ・公民館利用者の偏り（グループ）	・成果的な動向（方針）などは、日本語で分かりやすく表記 ・ITリテラシーの充実を		
人材育成	・生涯学習分野で社会教育士のキーパーソンが福祉と連携してほしい ・社会教育に専門職員が不足している	・正規職員の採用を増やす ・専門職員の養成に予算を確保する		
子ども・子育て	保育支援	保育支援	・保育園の待機児童は減ったが放課後児童クラブの待機児童が多い状況。 ・保育士の仕事（事務負担等）が多すぎるのではないかな。	・様々な保育に係る施策や支援の情報発信方法を工夫する。 ・保育士の仕事状況を把握し、事務などの負担を軽減して保育に専念してもらおう。
		住まい・公園	・公園が少ない。特にボール遊びができる公園が少ない。 ・マンションを建てる場合には公園を作るなどの規制が必要では。	・ボール遊びができる公園を増やす。
		子どもの居場所づくり	・不登校児童の居場所づくりや対応をもっと手厚くする。	・居場所（サードプレイス）づくり。 ・当事者同士の交流の場づくり。
	親への支援	親への支援	・出産までの支援体制はよいが、産後ケア（0～1歳）が弱い。 ・支援や事業が、当事者に伝わっていない。	・産後ケアなどの支援や事業について当事者に伝わるよう情報発信方法を検討する。 ・IT化の推進。
		大人の健診	・健診率が低い改善策が必要、骨密度測定の追加	・健診率UPのためのPRやキャッチコピー
		子どもの健診	・集団検診がメイン	・個別健診も選べる体制、自由に日時が選べるメリット
	健康・医療	予防接種	・带状疱疹ワクチンの補助がない、コロナ等感染予防対策の実施	・带状疱疹ワクチンの補助の実施 ・感染対策（手洗い・うがい等）が習慣となるような取り組み
		母子の交流	・母子の交流、子育て支援をする場所が少ない	・仲町保育園（子育て支援センター）での取組みを他の園でも実施
		発信	・フレイル予防をする機会と、そのよびかけが低い ・市民活動の告知	・地域のSNS ・コミュニティFM9の活用
		つながりあう	・よりあう場所が少ない→つながりをつくれぬ ・孤独・孤立	・いつでも都合がいい時に集える場所 ・若い方との交流の場所が欲しい・児童館への参加見学
高齢者・いきいき長寿	成年後見制度	・成年後見制度未整備	・成年後見中核機関協議会 ・成年後見制度基本計画策定	
	制度・環境	・介護事業者が足りない、人手不足	・介護職員への助成	
地域福祉と障害福祉	制度	・高齢者、障害者の生活は多様になるが、家族の苦しみは変わらない ・地域包括区分が生活実態に分割されていない	・施設依存型になりやすい→家族との生活の大切さを認識 ・地域包括支援センターの6圏域の見直し、または圏域の増設	
	地域コミュニティ	・孤立世帯の把握と対応 ・地域活動参加者の減	・あいはあと事業の強化、ゴミ出し助っ人制度 ・町内会のあり方、新しい町内	
総務	広報・広聴	悪い点・改善点	・ホームページの情報量は多いが、探しづらい部分がある ・広報は月1回しか発行されず、紙面に限りがある	・見たくなるホームページにする ・広報のページ数を増やす
	行財政・公共施設	悪い点・改善点	・築50年以上の施設が多い ・公民館の利用方法について利用者の意見聴取の場がない	・次の50年を見据えた公共施設の統廃合、再配置 →美しいまちへ ・公共施設の民営化、市民自主管理の推進
		その他	・財政収入、支出の件を市民の目で意見する場が必要	・市が援護している市民を雇用する企業を増やし、その企業が市の事業を受注することにより、雇用促進が図られ被援護者の収入増が図られるとともに、結果として扶助費の歳出削減につながるのではないかな
	デジタル	人材育成	・人を育ててほしい ・デジタル庁に職員を出向させてほしい	・職員の方の負担軽減を図るDX ・DX人材をどんだんに送り込もう
		手続き	・「行かない」「書かない」がおくれている ・DXが縁遠い人のフォローをしてほしい	・各種ワンストップの手法実現 ・チャート式でYes・Noや地域選択位で情報が探せる朝霞
	防災	防災	・町内会の防災における役割がわからない ・福祉避難所の明確化、周知	・自治会の活動内容を広める ・安全に避難するための体制、施設、設備の充実
		広報	・防災無線が聞こえない ・日頃の防災情報が伝わっていない	・情報の伝え方の工夫 ・広報誌の活用